

羅針盤

札幌市立前田中学校

進路だより

令和4年4月20日

第5号

中学校卒業後の進路について

今年は、例年より暖かい日が続き、桜前線はもうすぐ津軽海峡を越えてきます。新型コロナウイルスの影響で、これまでと同じにはありませんが、外部活動の屋外での活動が始まりました。昨年度は各種大会が延期になりましたが、中学校最後の中体連等の大会に向けて、充実した日々を過ごしてください。さて、みなさんは「中学3年生」という学年をどのように考えていますか？「学校で1番年上」？それとも、「受験生」？いろいろと思うところはあるでしょうが、みなさんはどのように考えているのでしょうか？

義務教育最後の1年

これが一体何を意味するのでしょうか。

これまでみなさんは、義務教育というレールの上を歩いてきました。みなさんが何もしなくても、小学校への入学の通知が届き、卒業すると中学校への入学の通知が届いたはずですが、今度はいつまで待っても、自分で行動しない限り、どこからも通知は届きません。それは、中学校を卒業した人たちに「あなたたちはもう社会ために貢献できる力を備えています。自分の力で歩いていける力が身に付いています。」ということを確認しているからです。中学校の卒業証書には、そんな意味が込められています。

しかし、多くの人には「自分はまだ学ばなければならないことがある。だから、まだ社会に出るのは早い。」と考えて、中学校を卒業してもさらに上級の学校へ通うことを選択します。

では、中学校を卒業すると、どのような学校に通うことができるのでしょうか。具体的には・・・

- ・ 高等学校（普通科・総合学科・専門学科・他）
- ・ 高等専門学校（高専ともいわれます）
- ・ 専修学校

などがあります。高等学校（一般に「高校」と言われる学校）の種類については、「羅針盤」で今後説明していきます。

あるいは、これらの学校に進学することを選ばずに、就職をする人もいます。また、専修学校で学び、就職・進学する道もあります。

○高等専門学校

高等専門学校（高専）は、一般的な3年間の高等学校と違い、5年間のカリキュラムが組まれて、高専卒業と同時に短大卒業の資格が与えられます。そして、5年間の終了後は、就職、4年制大学への3年次編入や大学などを受験するなどの選択肢があります。

北海道には工業高等専門学校が、苫小牧、旭川、函館、釧路の4か所にあります。

○専修学校

新規中学卒業者が入学できる専修学校とは、いろいろな職業に就くために専門的な知識を学ぶところで、型枠大工、工業関係（情報技術、環境・バイオ、電気、自動車）、調理師などの学校があります。また、これらの学校の中には、通信制の高等学校と技能連携し、専門学校に通いながら高校卒業の資格が取れる学校もあります。

定時制、全日制、通信制って？

- ・ 全日制 ・ 朝登校し、6時間以上（7時間や8時間の場合もあります）の授業を受けて夕方下校します。中学校と同じような生活スタイルの学校です。
- ・ 定時制 ・ 1日4時間の授業を受ける。定時制はこれまで「働きながら通う」ことが想定されていたため、多くの場合、夜間の定時制（17時登校）でしたが、進学が多様化から午前部、午後部の学校もあります。
高校の卒業単位は、74単位以上ですので、基本的には卒業に4年間（単位が取得できた場合は3年間）かかります。
- ・ 通信制 ・ 毎日通うのではなく、週に数回～年に数回（学校によって異なります）登校し、それ以外の日は自宅で学習を行います。テストやレポート、スクーリングで単位が認定されます。
広域通信制（私立）の学校では、毎日通う学校もあります。

学校説明会の案内

北海道ニセコ高等学校

○学校公開

日時 令和4年

5月24日（火）ニセコ高校意見発表大会

7月16日（土）学校祭

8月20日（土）一日体験入学①

10月 1日（土）一日体験入学②

11月22日（火）ニセコ高校実績発表大会

会場 北海道ニセコ高等学校 虻田郡ニセコ町字富士見141番地9

対象 生徒、保護者

申込 各イベントの詳細についての問い合わせ・申し込みは各自でお願いします。

電話：0136-44-2224 担当：新濱教頭先生か川岸先生へ

公立高校進学のもう一つの選択肢

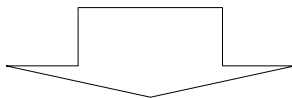
地域みらい留学

＜地域みらい留学とは＞

- ・ 都道府県の枠を超えて、地域の学校に入学し、充実した高校３年間を送ること

＜なぜ今、地域みらい留学なのか＞

- ・ 少子高齢化と人口減少
- ・ 急激な社会の変化



課題解決先進地（北海道～沖縄県４０校）

北海道は、北海道礼文高等学校、北海道おといねっぷ美術工芸高等学校、北海道奥尻高等学校、北海道大空高等学校が実施しています。

＜魅力＞

- １ 新たな友だち、世代を超えた仲間との出会い
- ２ 自然や文化のふれる
- ３ 地域が見守る安心な環境で自立した生活を過ごせる
- ４ 少人数教育
- ５ 生活費用が少ない（１か月 １万円～６万円）

(財)地域・教育魅力化プラットフォームという全国組織の団体の案内で、道内の礼文、おといねっぷも含めて多くの高校の説明会、体験入学の案内が今後数多く届きます。

進路だよりでお知らせしますので、進路選択の一助としてください。

